

花のチカラ 緑のココロ

2016年 春号

園芸福祉は国を超えて



進士会長の基調講演

今年の1月30日の土曜日に、台湾台北市で「台湾園藝福祉推廣協會」設立一周年を記念した台日検討会が開催されました。台湾南部で大きな地震が起きたのは、この大会の1週間後でしたので影響ありませんでしたが、亡くなられた方々にお悔やみ申し上げます。台湾で園芸福祉活動が取り込まれた経緯などは、日本から参加した園芸福祉ふくおかネットの山崎博子前代表の手記の一部より紹介させていただきます。

日本列島・台湾の寒波襲来後、余波が残る台北訪問記です。

2010年、台北国際花卉博に「エコ・アジア・五感の庭」を出展。その際「緑・水・国フォーラム in 台北」を開催しました。この事業はよかトピア記念財団の助成を受けて台湾・韓国・日本3国の関係者が集い交流をいたしました。それがご縁で昨年「台湾園芸福祉普及協会」が設立され、今回、一周年を記念して2016台・日・環境福祉シンポジウムが開催されました。日本から日本園芸福祉普及協会長／前東京農大大学長の進士五十八先生が環境福祉をテーマに基調講演をされました。「地域の園芸福祉活動報告」を木村洋子・「水と緑のまちづくり活動報告」を角銅久美子が発表しました。実践活動の映像は好評でした。終了後盛大な歓待を受けました。（山崎博子記）

日本からは、進士会長、ふくおかネットの山崎氏、角銅氏、木村氏と私の5名が参加したのですが、会場は予定より多い215名の参加者（講演中、通訳が中国語に訳している時に進士会長が数えた人数です）が集まり、良い社会を築くため、何でも吸収しようとする熱気を強く感じました。

台湾協会の呉理事長は、台北市内の看護・保健系の康寧大学の学長で、事務局も大学にあります。大会の翌日大学構内を訪ね、園芸福祉活動の拠点とする候補地を見せてもらいました。今後は、康寧大学で台湾での活動を担う人材育成が進められることでしょう。

そのためには、これまで以上の人的交流を進め、これまで日本が蓄積したノウハウを提供していくことが合意されました。

（文責：協会事務局 粕谷芳則）



トピックス

平成28年4月より、進士五十八会長（東京農業大学名誉教授）が福井県立大学学長に就任いたしましたのでご案内申し上げます。

お知らせ

第15回 園芸福祉シンポジウム in みえ ～園芸福祉活動の社会的インパクト～

2016年6月18日（土）14:00～ 三重県多気町に於いて開催
発表や報告と座談会 詳しくは案内チラシをご覧ください。

また、NPOの通常総会を当日同会場で、12:40から開催いたします。
正会員の方には、5月中旬頃に総会案内を送付いたします。



西東京市『植物とのふれあい講座』を終えて

平成 27 年 10 月から平成 28 年 1 月までの毎週月曜日、東京都西東京市住吉老人福祉センターにて『植物とのふれあい講座』（全 12 回）を開催いたしました。この講座は西東京市の介護予防事業として、市から当協会が委託を受け実施したものです。8 名の園芸福祉士と初級園芸福祉士が二人一組のペアとなり、自宅でも楽しめることをテーマに毎回工夫を凝らしたプログラムを展開。参加者はこれまで経験したことのない植物の楽しみ方に驚きと感動を覚えた様子。講座を通じ育まれた花や緑への関わりや人とのつながりが、その後の暮らしに新たな楽しみややりがいを生み、介護予防の一助となっています。

【プログラム】

- 第 1 回 オリエンテーション
- 第 2 回 My 植木鉢づくりとラディッシュの種まき
- 第 3 回 ハーブとスパイスでキッチンロープづくり
- 第 4 回 ハーブティーを楽しむ
- 第 5 回 多肉植物のポット植え
- 第 6 回 エアープランツのタブロー
- 第 7 回 ポプリソックスとベビーリーフの試食
- 第 8 回 ハーブティーを楽しむ
- 第 9 回 観葉植物の苔玉づくり
- 第 10 回 マツカサのクリスマスリース
- 第 11 回 球根の鉢植え
- 第 12 回 お正月飾り
- 第 13 回 ハーブソルトづくり
- 第 14 回 ハーブティーを楽しむ
- 第 15 回 早春の寄せ植え（ハンギング）
- 第 16 回 野菜の種だんご
- 第 17 回 ふりかえり

観葉植物の苔玉



講師 園芸福祉士 田畑正子さんより／

西東京市の『植物とのふれあい講座』を担当させていただくのは 2 期目となりました。参加の皆様は植物好きでお元気な方ばかりですので、もし自分が受講生だったらと考えながらプログラムを作成し、植物の奥深い魅力をさらに感じていただけるよう講座の直前まで工夫を重ねて進行役を務めました。参加の方々が笑顔で終了されるとホッとすると同時に、私自身も植物から恵みをもらい充実した時間を過ごすことが出来ました。



お正月飾り



ハーブとスパイスのキッチンロープ

サポート役 初級園芸福祉士 松崎久子さんより／
今回、『植物とのふれあい講座』にサポート役として 4 回参加させていただきました。講座は、受ける側としての経験しかなく、サポート役が務まるか不安でしたが、講師の方々のスムーズな進行のおかげで、受講者の皆さんと楽しい時間を過ごすことができました。高齢者といっても、参加者の皆さんは元気でパワフルな植物好きな方ばかり。そんな皆さんと関わり、植物、そして園芸福祉の良さを再認識することができました。

活動プログラムのご紹介

エアープランツとは、土を必要とせず、空気中の水分を葉から吸収し生長する植物の総称です。そしてタブローとは、フランス語で板絵やキャンバス画などの絵画のことを指します。メッシュフレームをキャンバスに見立て、エアープランツで立体的な生きている絵画をつくってみましょう。

※このプログラムは『植物とのふれあい講座』で行いました。

エアープランツのタブロー



★栽培のコツ★

水やりは霧吹きなどを使い、株全体がしっかり濡れるまでたっぷり水を与えて下さい。春～秋は週に 1～2 回を目安に夜間に、冬は週に 1 回気温が上がった日中に与えます。水やり後は空気が流れる場所へ置き、しっかり水が乾くようにします。緑葉種（トリコームと呼ばれる白い毛の少ないもの）は、銀葉種（トリコームに全体を覆われていて銀色がかったように見える）に比べ水分を保つのが下手なので、水やりの回数を増やしてあげると良いでしょう。

材 料

メッシュフレーム	ワイヤー（30 号）
エアープランツ（2 種類）	ミニイーゼル
木の実（モミジバフウ）	はさみ

作り方

1. メッシュフレームにエアープランツや木の実を配置しデザインを決める。
（縦でも横でも OK！）
2. エアープランツと木の実にワイヤーを回し、ねじってメッシュに固定する。
（エアープランツは 2 カ所位留めた方が安定します）
3. ウスネオイデス（ひも状のエアープランツ）はメッシュにひっかけるように飾る。
4. 霧吹きで水分を補給。
5. ミニイーゼルに立てかけ完成。

Congratulations!

昨秋、園芸福祉士に認定された方々をご紹介します。今後のますますのご活躍を期待しています。

東京都

沢田 慶子様
渡部 恵様
湊 葉子様
今井 のり子様
土屋 はる菜様

石川県

中谷 竹志様

愛知県

小笠原 政江様
鵜飼 敏之様
朝比奈 優子様

岡山県

山本 洋子様
戸田 育子様
大島 佐知子様

神奈川県

古谷 郁子様
河村 寿美子様
龍造寺 泉様

福井県

浦野 美由紀様
見谷 春美様
吉岡 陽子様

三重県

葛山 恵美子様

広島県

葉名 康弘様
葉名 房恵様
穂登原 亮介様

新潟県

齋藤 あけみ様
高橋 正子様

岐阜県

稲川 敬二様
西尾 守様

奈良県

木村 良一様
郡山 洋子様
上野 径子様
梅田 恵子様

山口県

山根 和信様

富山県

窪木 睦明様

静岡県

中見 幸様

鳥取県

後藤 厚見様
後藤 博子様

福岡県

緒方 賢子様
木村 洋子様



この春のおすすめの一冊

「ミニ雑草図鑑 ～雑草の見分けかた～」

廣田伸七編著 全国農村教育協会 2,200円+税



「ねえ、この草なんていう名前？」

「うーん・・・」突然聞かれて答えに

困った経験ありませんか？こんな時役に立つのが今回ご紹介する『ミニ雑草図鑑～雑草の見分けかた～』です。A5サイズで手軽に持ち歩いて、しかもたくさんの種類の雑草が水田、湿地、

畑地、空地など生育環境ごとに紹介されています。とても見やすく分かりやすく、この本が一冊あればほとんどの雑草がたちどころに分かります。雑草のことを知っていれば活動の幅がグンと広がること間違いなし！

行事カレンダー

- 4月 初級園芸福祉士認定試験合格発表
資格更新手続き締切
- 5月 初級園芸福祉士資格登録手続き締切
- 6月 年間活動アンケート提出締切
総会・シンポジウム
(18日 於:三重県多気町 町民文化会館)
- 9月 園芸福祉士認定審査
- 10月 園芸福祉士認定者発表
- 2月 初級園芸福祉士認定試験
- 3月 資格更新手続き開始

詳細や日程については HP で最新情報をお知らせしていますのでそちらをご確認ください。



コラム 市民農園万国記 ～市民農園の本質はコミュニティ～



フィンランド人を迎えて(千葉萩台市民農園)

近年、日本の農林水産省も「農のある暮らし」や「都市農業機能発揮」「福祉農園整備」などを唱えるようになってきました。農業政策側の立場からは、農が持つ多面的機能を市民に提供し、農地の有効活用を図り農業経営の一助とするのですが、利用する人や周辺に居住する住民から見るとどうなのでしょう。飲食店の中には、俺の〇〇や大将の意にそぐわない客は来なくて良いという寿司屋やラーメン屋もありますが、大半は消費者や利用者ニーズの把握が必要不可欠です。

市民農園の利用者は何を望んでいるのでしょうか。自分で野菜を育てる喜びや達成感、収穫物を得ることも大きな目的ですが、これらは一人ベランダで行うプランター栽培でも叶えられます。

二十数年間市民農園調査に関わり、区画が空くのを待っている人が居るような市民農園には、一つの共通点があることがわかりました。それは、農園の中にコミュニティがあることです。利用者相互と農園主と利用者、どちらのコミュニティも築かれる仕掛けがありました。

フランス パリ郊外オルリー空港近くのリス・オランジの市民農園は、農園の区画割りの工夫でコミュニティを高めていました。詳しくは次号に譲りますが、8区画を単位とした隣組が4つ集まり1ロットとなり、いやがおうでも32区画の利用者が顔を合わせるように作られています。訪問したとき、3人の女性が土を耕していました。聞けば「旦那達は畑仕事をせずに、3人でワインを飲んでいる」とのこと。うらやましい...。(粕谷)



奥様達も耕しながら団らん

求む！各地・各人の活動情報

地域組織や個人の園芸福祉活動の情報を事務局宛にお送りください。また、下記 mail アドレスにご連絡ください。会報などはPDFファイルを添付してメールしていただければ皆様に広報させていただきます。

HP アドレス：<http://www.engeifukusi.com/>

mail アドレス：kyoukai@engeifukusi.com

正会員を募集しています

日本園芸福祉普及協会は、NPO法人です。NPO法人は、正会員で成り立つ組織です。協会の正会員の内70%以上の方は、初級園芸福祉士の資格を取られた後に正会員になられた方達です。多くの方に正会員になっていただき、協会運営にお力添えをお願いいたします。

おすすめの一冊

ただ今、会報で紹介させていただくおすすめの本を募集しています。みなさんのおすすめの1冊をぜひお知らせください。ただし、園芸福祉に関連する、あるいは関連すると思われる本に限らせていただきます。お待ちしております！！

編集後記

「コル“koru”」とは、渦巻いたシダの新芽のこと。ニュージーランドには多様なシダが自生し、古来より先住民族・マオリ族にとって身近な植物だったといえます。外に向かってこれから開こうとする姿から、「新生」「再起」「調和」などの象徴とされ、そのような意味合いから、伝統的に彫刻やネックレスなどのモチーフとして好まれてきたのだとか。ちなみに、ニュージーランドの新しい国旗のデザイン案にも取り入れられているそうです。(今井)



NPO法人日本園芸福祉普及協会

〒162-0063 東京都新宿区市谷薬王寺町 58

TEL: 03-3266-0666 FAX: 03-3266-0667